



平成 18 年 10 月 26 日

各 位

会社名 株式会社バンダイナムコホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 高 須 武 男
 問合連絡先名 取締役 田 中 慶 治
 電話番号 0 3 (5 7 8 3) 5 5 0 0
 (コード番号 7832 東証一部)

平成 19 年 3 月期 業績予想（連結・単独）の修正について

平成 18 年 7 月 3 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の中間期業績予想（連結・単独）および平成 18 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期の通期業績予想（連結・単独）を、それぞれ下記の通り修正いたします。

記

1. 中間期業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～9 月 30 日）

連結業績予想（平成 18 年 4 月～9 月）

単位：百万円

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	210,000	12,500	9,000
今回修正予想（B）	206,000	18,500	10,500
増減額（B-A）	4,000	6,000	1,500
増減率	1.9%	48.0%	16.7%
（ご参考）前期実績 （平成 17 年 4 月～9 月）	218,873	18,244	7,834

単独業績予想（平成 18 年 4 月～9 月）

単位：百万円

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	3,000	2,000	3,500
今回修正予想（B）	3,100	1,700	2,800
増減額（B-A）	100	300	700
増減率	3.3%	15.0%	20.0%
（ご参考）前期実績 （平成 17 年 4 月～9 月）	10	286	286

2. 通期業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

連結業績予想（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月）

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	470,000	40,500	22,000
今回修正予想（B）	470,000	40,500	23,500
増減額（B-A）	0	0	1,500
増減率	-	-	6.8%
（ご参考）前期実績 （平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月）	450,829	37,122	14,149

単独業績予想（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月）

単位：百万円

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	6,500	4,500	4,500
今回修正予想（B）	6,500	4,000	5,500
増減額（B-A）	0	500	1,000
増減率	-	11.1%	22.2%
（ご参考）前期実績 （平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月）	27,747	26,365	26,365

3. 修正の理由

平成 19 年 3 月期の中間期につきましては、ゲームコンテンツ事業において一部商品の発売日が下期に変更となったこと等により、売上高は前回予想を下回る見込みです。しかしながら、「データカードダス」や「たまごっちプラス」シリーズの人気によりトイホビー事業が好調に推移したほか、「機動戦士 Z ガンダム 一星の鼓動は愛」「機動戦士ガンダム SEED DESTINY スペシャルエディション」等の DVD ビデオの人気により映像音楽コンテンツ事業が好調に推移し、連結の利益面において大きく貢献しました。

また、特別損益につきましては、平成 18 年 7 月 3 日に公表した株式会社東ハトの株式売却に伴う売却益の計上に加え、連結においては「ナムコ・ナンジャタウン」（東京都豊島区）について、従来のインキュベーション的なパイロット施設から、グループの事業やシナジーを発信する広告塔としての施設に位置づけを変更したことに伴い、対象となる固定資産の減損損失を計上することといたしました。

これらの結果、平成 19 年 3 月期の中間期の業績予想を、前頁の表に記載のとおり修正いたします。

通期につきましては、下期における市場の不透明感を勘案し、連結の売上高と経常利益は年初計画を据え置きますが、当期純利益につきましては、前述の特別損益を考慮し、上表のとおり修正いたします。

なお、本日発表した「平成 19 年 3 月期の中間配当に関するお知らせ」に記載のとおり、安定的な配当額として年間 24 円をベースに連結配当性向 30%を目標とするという当社の基本方針に基づき、平成 19 年 3 月期の中間配当金につきましては 1 株当たり 12 円といたします。

以上

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている将来に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与え得る重要な要因には、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動などが含まれます。